

# 九州経済国際化データ2018

*Kyushu economic internationalization data*

## 【 貿易編 】



< 概要版 >

2018年8月

経済産業省 九州経済産業局

# 九州経済国際化データ2018貿易編(ポイント)

## 九州の貿易額等

- 2017年の九州の貿易額は、輸出入額ともに前年より増加、輸出額においては過去最高(※) ※1979年以降、以下同じ
- 九州の輸出額の全国比も過去最高
  - 輸出額 **6兆8,410億円**(前年比 21.0%増、全国比 8.7%、全国 78兆2,865億円、前年比 11.8%増)
  - 輸入額 **5兆2,788億円**(前年比 18.2%増、全国比 7.0%、全国 75兆3,792億円、前年比 14.1%増)
- 輸出から輸入を引いた貿易収支は+1兆5,622億円で、過去最高であるとともに、3年連続の貿易黒字(全国は2年連続の黒字)

## 九州と各国の貿易

- 輸出相手国・地域としては、中国への輸出額が最も多く、次いで米国、韓国、台湾、香港となっており、アジアの国・地域が全体の6割弱
- 輸入相手国・地域としては、中国からの輸入額が最も多く、次いでオーストラリア、サウジアラビア、米国、台湾

## 九州の産業別貿易

- 2017年の九州から世界への輸出品目は、輸出額が多い順に、自動車、半導体等電子部品、船舶類、半導体等製造装置、鉄鋼のフラットロール製品となっており、上位5品目で全体の5割超
- 一方、九州の世界からの輸入品目は、輸入額の大きい順に、原油及び粗油、石炭、石油ガス類、半導体等電子部品、非鉄金属鉱となっており、鉱物性燃料や原材料が上位で全体の4割超

## 九州と世界の貿易

.....p1

- ・九州の貿易(総括) p1
- ・九州の品目別貿易動向 p2
- ・九州の国・地域別貿易動向 p3
- ・九州の貿易収支 p4

## 九州と各国・地域の貿易

.....p5

- ・韓国 p5
- ・中国 p6
- ・台湾 p7
- ・香港 p8
- ・ASEAN p9
- ・EU p11
- ・米国 p13

## 九州の産業別貿易動向

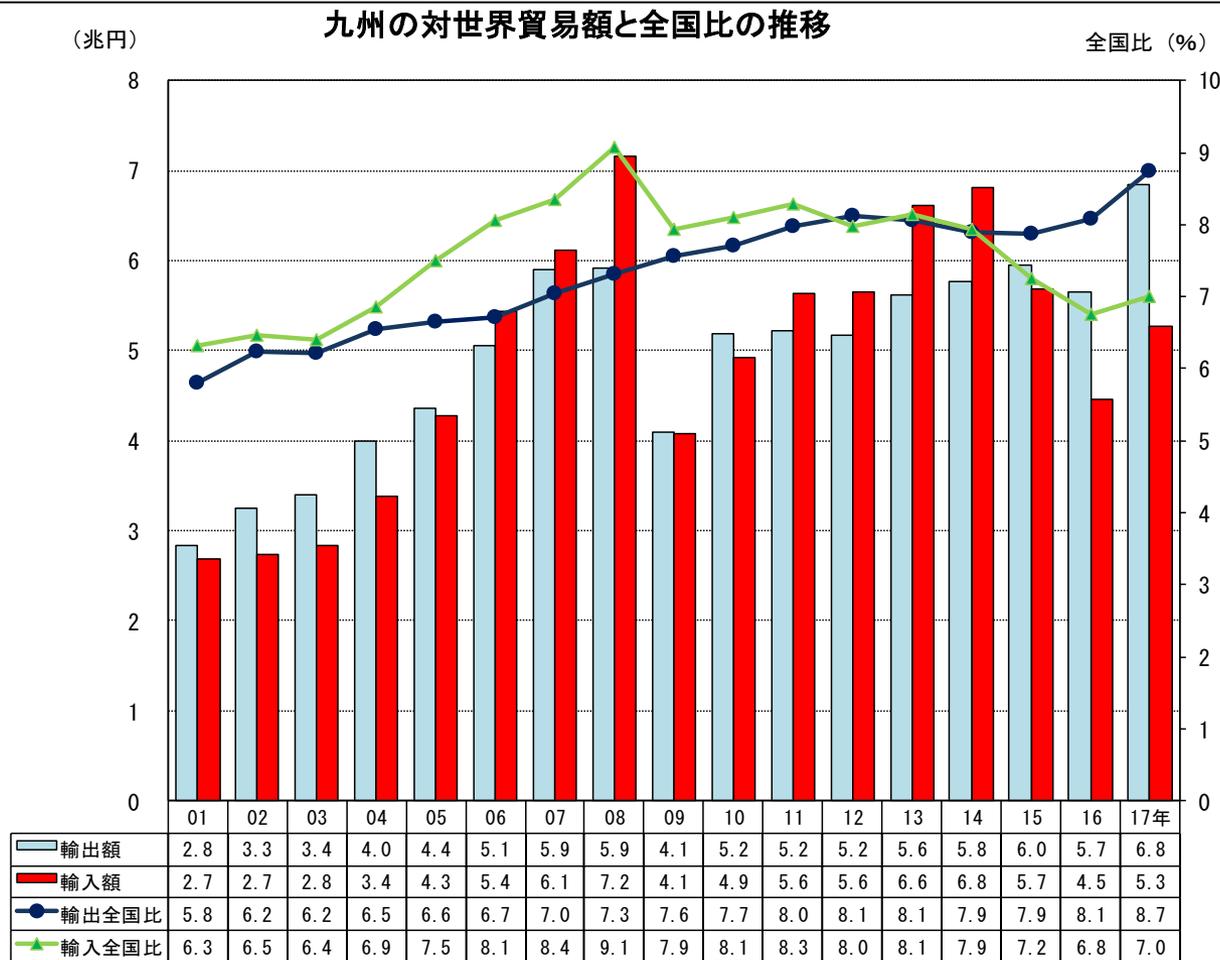
.....p14

- ・自動車 p14
- ・半導体等電子部品 p15
- ・食料品 p16
- ・鉱物性燃料 p17

# 九州の貿易(総括)

○2017年の九州の貿易額は、輸出が6兆8,410億円(前年比21.0%増)で、輸入は5兆2,788億円(前年比18.2%増)で、ともに前年より増加した。  
 ○九州の貿易額が全国に占める割合は、輸出が8.7%で、輸入は7.0%で、ともに前年より増加した。

★2017年の九州の輸出額及び全国比並びに貿易収支は過去最高(※)★ ※1979年以降、以下同じ。  
 2017年の九州の輸出額及び輸出額の全国に占める割合(全国比)ともに過去最高となった。また、輸出額から輸入額を引いた貿易収支も過去最高となった。

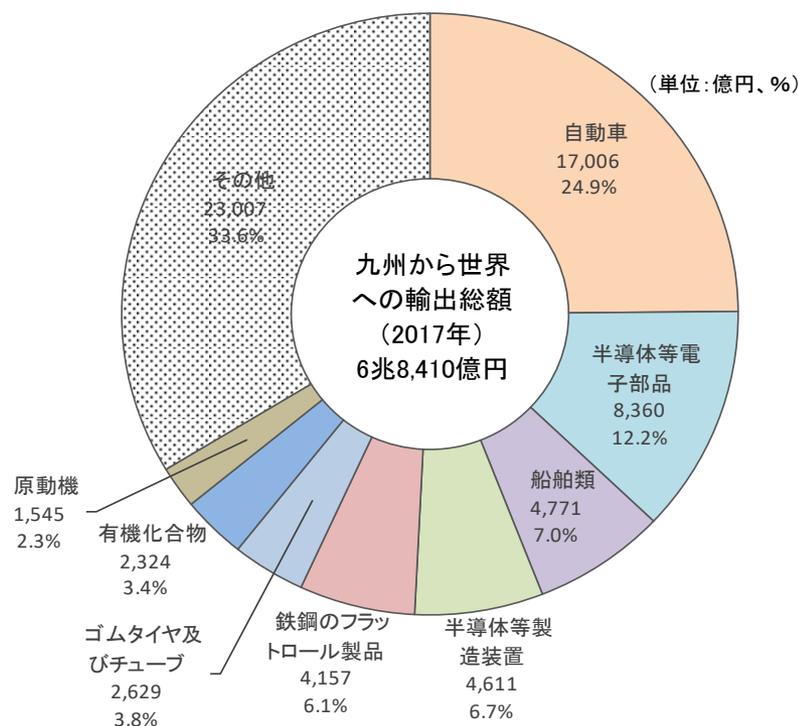


# 九州の品目別貿易動向

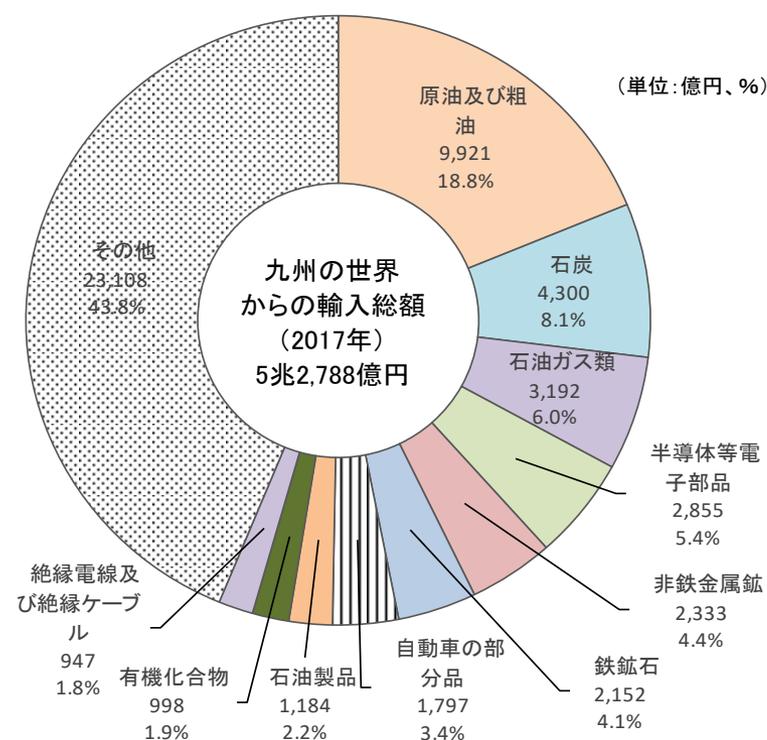
○2017年の九州から世界への輸出品目は、輸出額が多い順に、自動車、半導体等電子部品、船舶類、半導体等製造装置、鉄鋼のフラットロール製品であり、この上位5品目で輸出額全体の5割を超えた。輸出額の増加に寄与した主な品目は、自動車(寄与度: +6.5%)、半導体等電子部品(同+3.1%)等で、一方、減少では、軌条及びその他の鉄道線路建設材(同▲0.1%)、船舶類(同▲0.04%)等であった。

○2017年の九州の世界からの輸入品目は、輸入額が多い順に、原油及び粗油、石炭、石油ガス類、半導体等電子部品、非鉄金属鉱となっており、鉱物性燃料と原材料が上位を占め、全体の4割を超えた。輸入額の増加に寄与した主な品目は、原油及び粗油(寄与度: +5.7%)、石炭(同+2.9%)等で、一方、減少では、非鉄金属鉱(寄与度: ▲1.1%)、ガラス及び同製品(同▲0.1%)等であった。

## 九州から世界への輸出品目(小分類)



## 九州の世界からの輸入品目(小分類)



寄与度 (増加分) : 自動車 (+6.5%)、半導体等電子部品 (+3.1%) 等  
 寄与度 (減少分) : 軌条及びその他の鉄道線路建設材 (▲0.1%)、船舶類 (▲0.04%) 等

寄与度 (増加分) : 原油及び粗油 (+5.7%)、石炭 (+2.9%) 等  
 寄与度 (減少分) : 非鉄金属鉱 (▲1.1%)、ガラス及び同製品 (▲0.1%) 等

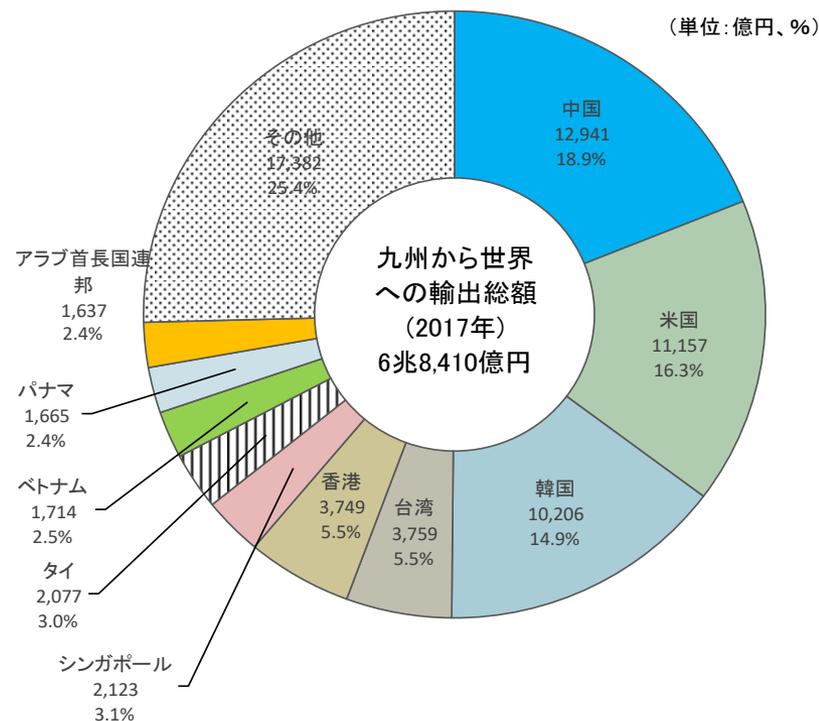
出所: 財務省「貿易統計」より九州経済産業局作成

※寄与度とは、貿易統計において(前期との差額)÷(前期の輸出または輸入総額)で算出され、当該項目の増減が輸出または輸入の総額の変動にどれくらい影響するかを示す。単位は%。なお、寄与度は、増加分・減少分ともに上位2品目を掲載。以下同じ。

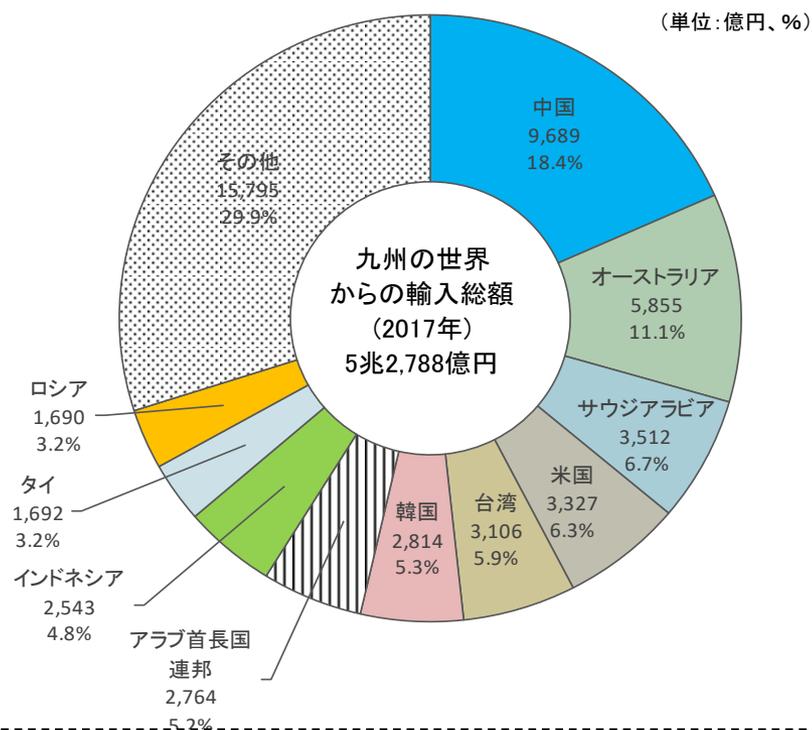
# 九州の国・地域別貿易動向

- 2017年の九州の最大の貿易相手国は中国であり、次いで米国、韓国であった。
- 輸出相手国・地域としては、中国への輸出額が最も多く、次いで米国、韓国、台湾、香港等となっており、アジアの国・地域が全体の6割弱であった。
- 米国向け(寄与度: +6.2%)、韓国向け(同+4.9%)、中国向け(同+3.6%)香港向け(同+1.7%)などの輸出額が増加した。一方、サウジアラビア向け(同▲0.7%)、スペイン向け(同▲0.1%)などの輸出額は減少した。
- 輸入相手国・地域としては、中国からの輸入額が最も多く、次いでオーストラリア、サウジアラビア、米国、台湾であった。
- オーストラリア(同+3.0%)、米国(同+2.0%)、アラブ首長国連邦(同+1.5%)、台湾(同1.5%)などの輸入額が増加した。一方、メキシコ(同▲0.4%)、ブラジル(同▲0.2%)などの輸入額は減少した。

## 九州の輸出相手国・地域



## 九州の輸入相手国・地域



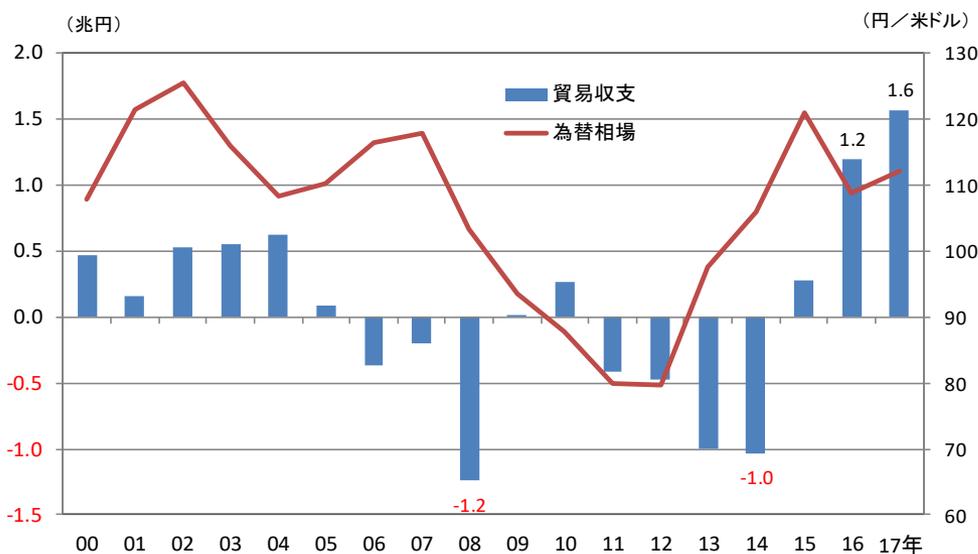
寄与度 (増加分) : 米国 (+6.2%)、韓国 (+4.9%)、中国 (+3.6%)、香港 (+1.7%) 等  
 寄与度 (減少分) : サウジアラビア (▲0.7%)、スペイン (▲0.1%) 等

寄与度 (増加分) : オーストラリア (+3.0%)、米国 (+2.0%)、アラブ首長国連邦 (+1.5%)、台湾 (+1.5%) 等  
 寄与度 (減少分) : メキシコ (▲0.4%)、ブラジル (▲0.2%) 等

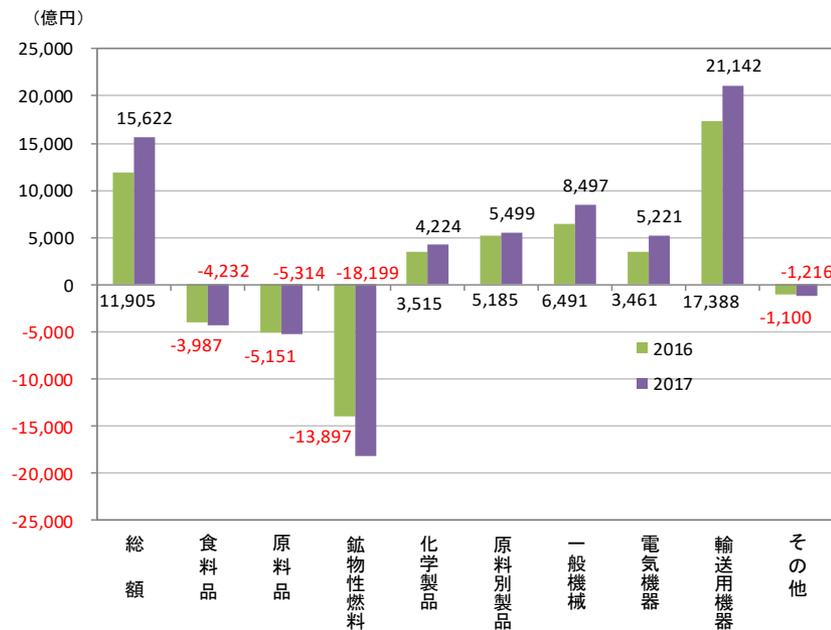
# 九州の貿易収支

- 2017年の九州の貿易収支は+1兆5,622億円と過去最高で3年連続の貿易黒字となった。
- 品目別では、前年比べて鉱物性燃料の輸入超過額が増加したものの、輸送用機器や一般機械、電気機器等の輸出超過額が大きかったため、九州の貿易収支は貿易黒字となった。
- 国別の輸出超過額では、米国が7,830億円で最も多く、次が韓国の7,393億円、香港の3,690億円であった。一方、輸入超過額では、オーストラリアが4,856億円で最も多く、次がサウジアラビアの3,253億円、インドネシアの1,676億円であった。

## 九州の貿易収支と為替相場(円・米ドル)の推移



## 九州の品目別貿易収支(2016-2017年)



## 九州の相手国・地域別貿易収支(2017年)

(単位:億円)

相手国・地域	輸出超過額	相手国・地域	輸入超過額
米国	7,830	オーストラリア	▲ 4,856
韓国	7,393	サウジアラビア	▲ 3,253
香港	3,690	インドネシア	▲ 1,676
中国	3,253	ロシア	▲ 1,304
シンガポール	1,943	アラブ首長国連邦	▲ 1,127
九州の貿易収支額(2017年) 1兆5,622億円			

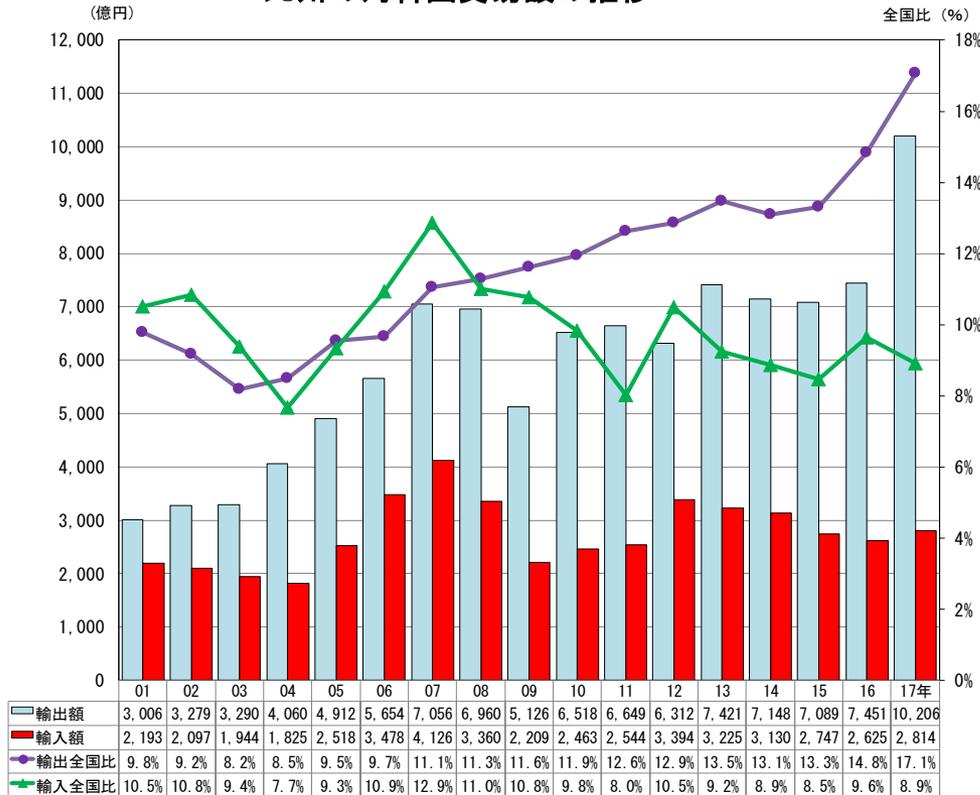
# 九州と韓国の貿易動向

○2017年の九州の対韓国貿易額は、輸出が1兆206億円（前年比37.0%増）で前年より増加し、2年連続の増加となった。一方、輸入も2,814億円（前年比7.2%増）で前年より増加し、5年ぶりに増加へ転じた。

○輸出品目は、輸出額が多い順に、半導体等製造装置、半導体等電子部品、鉄鋼のフラットロール製品であった。輸出額の増加に大きく寄与したものは、半導体等製造装置（寄与度：+15.6%）、半導体等電子部品（同+9.8%）等であった。一方、減少では、原動機（同▲0.9%）、銅及び同合金（同▲0.5%）等であった。

○輸入品目は、輸入額が多い順に、鉄鋼のフラットロール製品、自動車の部分品、石油製品であった。輸入額の増加に大きく寄与したものは、鉄鋼のフラットロール製品（寄与度：+4.8%）、鉄鋼製構造物及び同建設材（同+2.6%）等であった。一方、減少では、石油製品（同▲3.1%）、半導体等電子部品（同▲1.1%）等であった。

## 九州の対韓国貿易額の推移



出所：財務省「貿易統計」より九州経済産業局作成

## 九州の主な対韓国輸出入品目

主な輸出品目	輸出額(億円)	構成比(%)
半導体等製造装置	2,868	28.1%
半導体等電子部品	2,191	21.5%
鉄鋼のフラットロール製品	635	6.2%
自動車	506	5.0%
有機化合物	467	4.6%
科学光学機器	325	3.2%
鉄鋼くず	216	2.1%
電気回路等の機器	92	0.9%
映像機器	81	0.8%
電気計測機器	81	0.8%
その他	2,745	26.9%
総 額	10,206	100%

寄与度（増加分）：半導体等製造装置（+15.6%）、半導体等電子部品（+9.8%）等  
寄与度（減少分）：原動機（▲0.9%）、銅及び同合金（▲0.5%）等

主な輸入品目	輸入額(億円)	構成比(%)
鉄鋼のフラットロール製品	393	14.0%
自動車の部分品	254	9.0%
石油製品	134	4.8%
鉄鋼製構造物及び同建設材	128	4.5%
半導体等電子部品	121	4.3%
有機化合物	118	4.2%
半導体等製造装置	86	3.1%
原動機	77	2.7%
野菜	64	2.3%
抗生物質製剤	54	1.9%
その他	1,384	49.2%
総 額	2,814	100%

寄与度（増加分）：鉄鋼のフラットロール製品（+4.8%）、鉄鋼製構造物及び同建設材（+2.6%）等  
寄与度（減少分）：石油製品（▲3.1%）、半導体等電子部品（▲1.1%）等

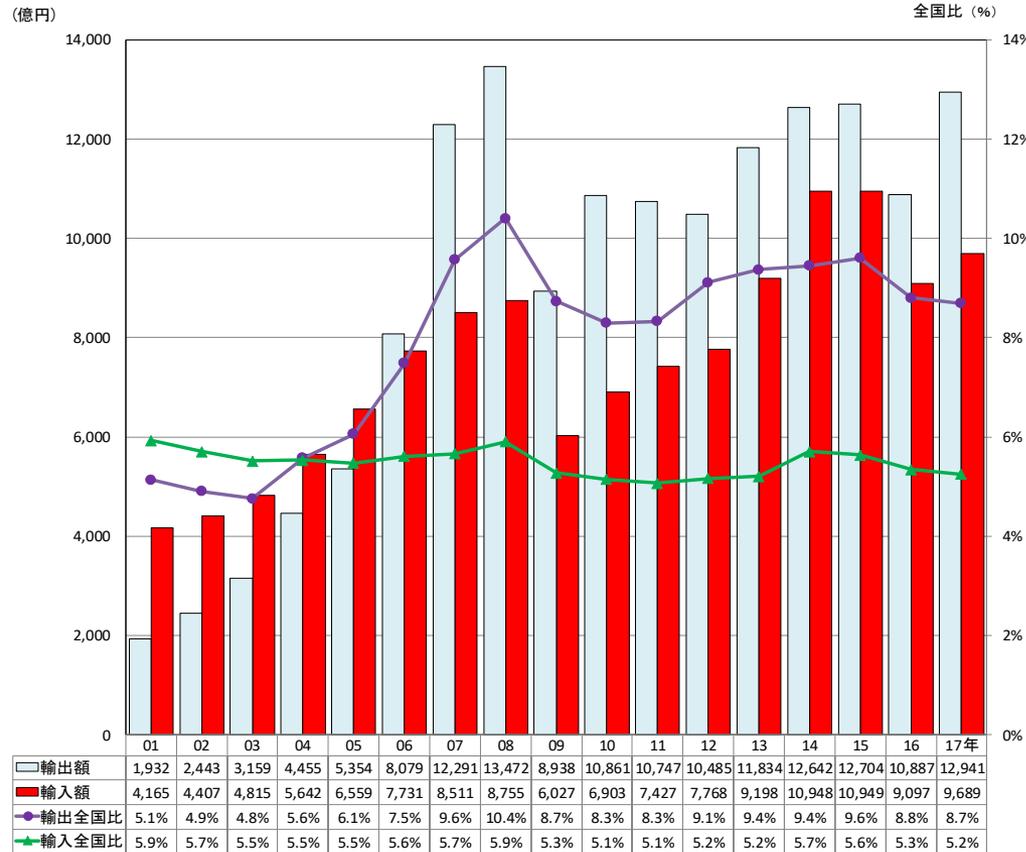
# 九州と中国の貿易動向

○2017年の九州の対中国貿易額は、輸出が1兆2,941億円(前年比18.9%増)で前年より増加した。一方、輸入も9,689億円(前年比6.5%増)で前年より増加した。

○輸出品目は、輸出額が多い順に、自動車、半導体等製造装置、有機化合物であった。輸出額の増加に大きく寄与したものは、自動車(寄与度: +5.3%)、半導体等製造装置(同+4.8%)等であった。一方、減少では、銅及び同合金(同▲1.1%)、半導体等電子部品(同▲0.5%)等であった。

○輸入品目は、輸入額が多い順に、自動車の部分品、半導体等電子部品、有機化合物であった。輸入額の増加に大きく寄与したものは、電気回路等の機器(寄与度: +1.5%)、無機化合物(同+1.2%)等であった。一方、減少では、半導体等電子部品(寄与度: ▲1.4%)、植物性油かす(同▲1.0%)等であった。

## 九州の対中国貿易額の推移



出所:財務省「貿易統計」より九州経済産業局作成

## 九州の主な対中国輸出入品目

主な輸出品目	輸出額(億円)	構成比(%)
自動車	4,009	31.0%
半導体等製造装置	1,422	11.0%
有機化合物	880	6.8%
半導体等電子部品	865	6.7%
鉄鋼のフラットロール製品	592	4.6%
銅及び同合金	545	4.2%
原動機	482	3.7%
電気回路等の機器	229	1.8%
科学光学機器	182	1.4%
鉄鋼くず	124	1.0%
その他	3,610	27.9%
総 額	12,941	100%

寄与度(増加分):自動車(+5.3%)、半導体等製造装置(+4.8%)等  
寄与度(減少分):銅及同合金(▲1.1%)、半導体等電子部品(▲0.5%)等

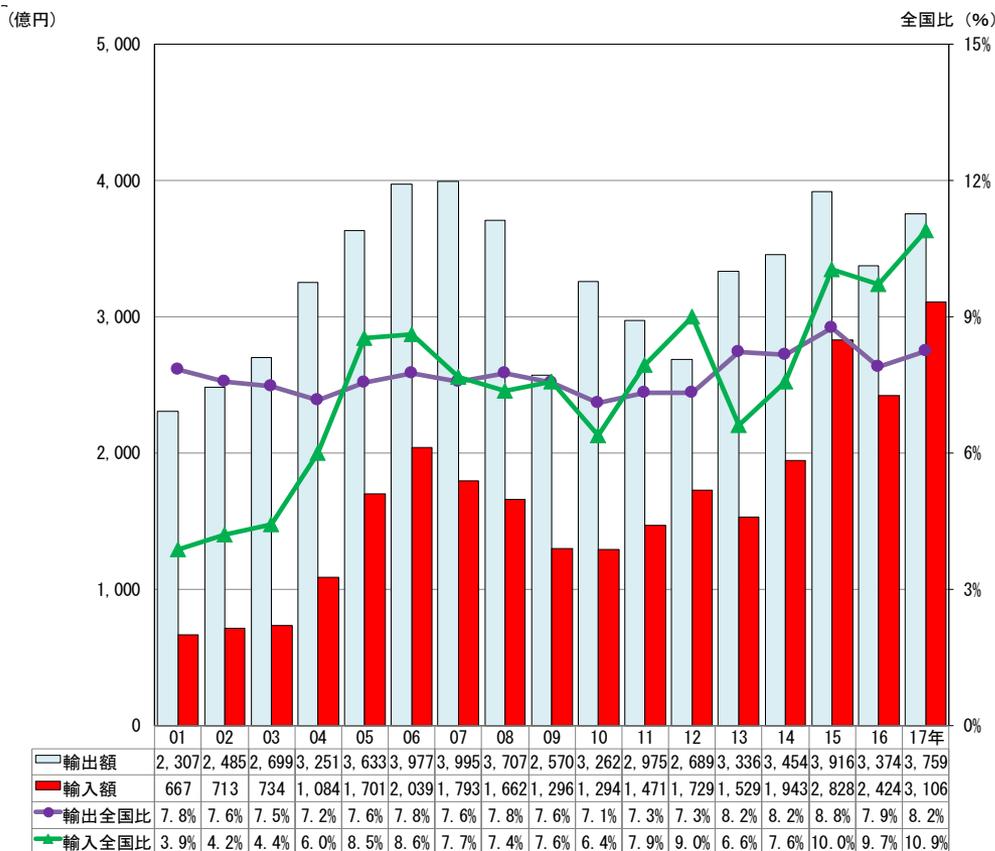
主な輸入品目	輸入額(億円)	構成比(%)
自動車の部分品	684	7.1%
半導体等電子部品	546	5.6%
有機化合物	462	4.8%
電気回路等の機器	371	3.8%
メリヤス編み及びクロセ編み衣類	261	2.7%
無機化合物	254	2.6%
野菜	241	2.5%
音響・映像機器(含部品)	222	2.3%
家庭用電気機器	210	2.2%
プラスチック製品	201	2.1%
その他	6,237	64.4%
総 額	9,097	100%

寄与度(増加分):電気回路等の機器(+1.5%)、無機化合物(+1.2%)等  
寄与度(減少分):半導体等電子部品(▲1.4%)、植物性油かす(▲1.0%)等

# 九州と台湾の貿易動向

- 2017年の九州の対台湾貿易額は、輸出が3,759億円(前年比11.4%増)で前年より増加した。一方、輸入も3,106億円(前年比28.1%増)で前年より増加した。
- 輸出品目は、輸出額が多い順に、自動車、半導体等電子部品、有機化合物であった。輸出額の増加に大きく寄与したものは、原動機(寄与度: +4.8%)、銅及び同合金(同+2.1%)等であった。一方、減少では、半導体等製造装置(同▲3.2%)、有機化合物(同▲0.9%)等であった。
- 輸入品目は、輸入額が多い順に、半導体等電子部品、科学光学機器、非鉄卑金属くずであった。輸入額の増加に大きく寄与したものは、半導体等電子部品(寄与度: +21.7%)、科学光学機器(同+0.9%)等であった。一方、減少では、有機化合物(同▲0.3%)、通信機(同▲0.2%)等であった。

## 九州の対台湾貿易額の推移



## 九州の主な対台湾輸出入品目

主な輸出品目	輸出額(億円)	構成比(%)
自動車	470	12.5%
半導体等電子部品	388	10.3%
有機化合物	263	7.0%
半導体等製造装置	220	5.9%
銅及び同合金	190	5.1%
原動機	160	4.3%
鉄鋼のフラットロール製品	138	3.7%
科学光学機器	109	2.9%
無機化合物	97	2.6%
ポンプ及び遠心分離機	83	2.2%
その他	1,639	43.6%
総 額	3,759	100.0%

寄与度(増加分): 原動機(+4.8%)、銅及び同合金(+2.1%)等  
 寄与度(減少分): 半導体等製造装置(▲3.2%)、有機化合物(▲0.9%)等

主な輸入品目	輸入額(億円)	構成比(%)
半導体等電子部品	2,025	65.2%
科学光学機器	170	5.5%
非鉄卑金属くず	60	1.9%
有機化合物	41	1.3%
音響・映像機器(含部品)	25	0.8%
プラスチック製品	21	0.7%
鉄鋼のフラットロール製品	20	0.7%
重電機器	18	0.6%
アルミニウム及び同合金	17	0.5%
合成ゴム	13	0.4%
その他	696	22.4%
総 額	3,106	100%

寄与度(増加分): 半導体等電子部品(+21.7%)、科学光学機器(+0.9%)等  
 寄与度(減少分): 有機化合物(▲0.3%)、通信機(▲0.2%)等

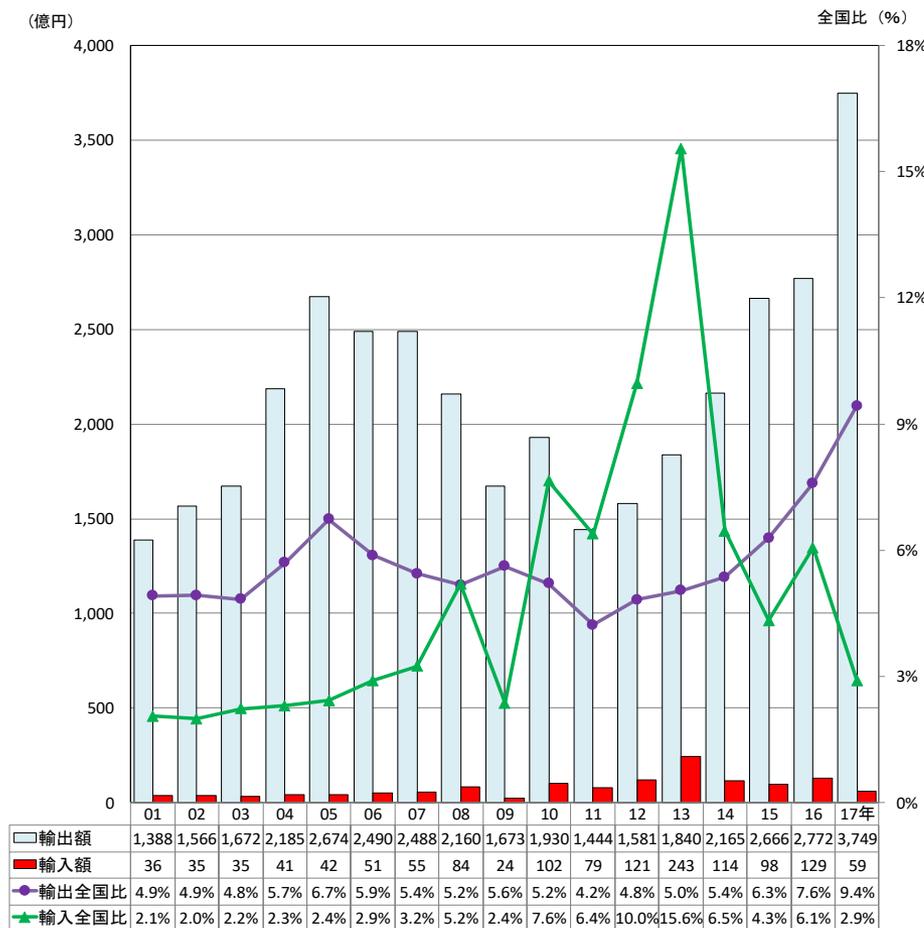
# 九州と香港の貿易動向

○2017年の九州の対香港貿易額は、輸出が3,749億円（前年比35.3%増）で前年より増加し、6年連続の増加となった。一方、輸入は59億円（前年比53.8%減）で前年の半分以下に大きく減少した。

○輸出品目は、輸出額が多い順に、半導体等電子部品、船舶類、電気回路等の機器であった。輸出額の増加に大きく寄与したものは、半導体等電子部品（寄与度：+29.1%）、船舶類（同+5.1%）等であった。一方、減少では、映像機器（同▲1.6%）、半導体等製造装置（同▲0.6%）等であった。

○輸入品目は、輸入額が多い順に、魚介類、鉄鋼くず、非鉄卑金属くずであった。輸入額の増加に大きく寄与したものは、鉄鋼くず（寄与度：+6.7%）、半導体等電子部品（同+0.8%）等であった。一方、減少では、魚介類（同▲62.8%）、非鉄卑金属くず（同▲1.7%）等であった。

## 九州の対香港貿易額の推移



## 九州の主な対香港輸出入品目

主な輸出品目	輸出額(億円)	構成比(%)
半導体等電子部品	2,435	64.9%
船舶類	423	11.3%
電気回路等の機器	131	3.5%
建設用・鉱山用機械	67	1.8%
自動車	35	0.9%
ゴムタイヤ及びチューブ	27	0.7%
化粧品	25	0.7%
貴石等の製品類	23	0.6%
映像機器	22	0.6%
鉄鋼のフラットロール製品	22	0.6%
その他	539	14.4%
総額	3,749	100.0%

寄与度（増加分）：半導体等電子部品（+29.1%）、船舶類（+5.1%）等  
寄与度（減少分）：映像機器（▲1.6%）、半導体等製造装置（▲0.6%）等

主な輸入品目	輸入額(億円)	構成比(%)
魚介類	10	16.1%
鉄鋼くず	9	14.5%
非鉄卑金属くず	5	8.8%
半導体等電子部品	1.0	1.7%
半導体等製造装置	0.4	0.7%
ポンプ及び遠心分離機	0.3	0.5%
絶縁電線及び絶縁ケーブル	0.2	0.3%
プラスチック製品	0.1	0.2%
通信機	0.1	0.2%
貴石及び半貴石	0.1	0.1%
その他	33.9	57.0%
総額	59	100.0%

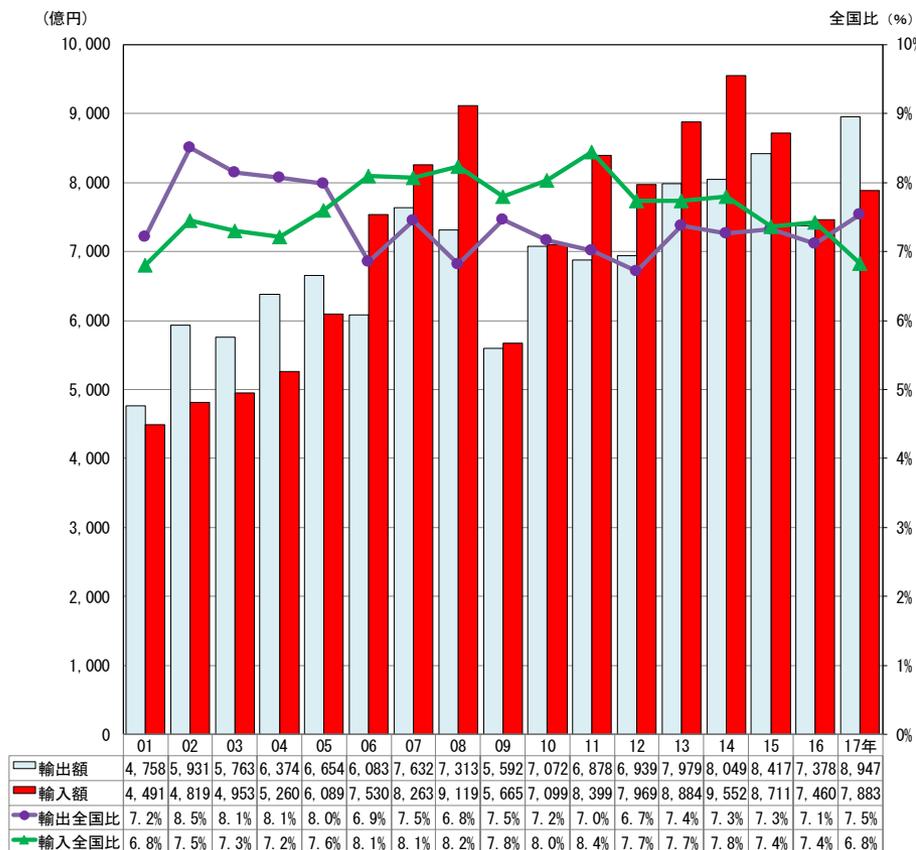
寄与度（増加分）：鉄鋼くず（+6.7%）、半導体等電子部品（+0.8%）等  
寄与度（減少分）：魚介類（▲62.8%）、非鉄卑金属くず（▲1.7%）等

# 九州とASEANの貿易動向①

○2017年の九州の対ASEAN貿易額は、輸出が8,947億円（前年比21.3%増）で前年より増加した。一方、輸入も7,883億円（前年比5.7%増）で前年より増加し、3年ぶりに増加へ転じた。

○輸出は、シンガポール向け2,123億円（前年比17.9%増）、タイ向け2,077億円（同26.8%増）等で増加し、2ヶ国（ミャンマー、ブルネイ）向けは減少した。一方、輸入は、インドネシアから2,543億円（同1.7%減）、タイから1,692億円（同11.2%増）等で増加し、3ヶ国（シンガポール、フィリピン、インドネシア）からは減少した。

## 九州の対ASEAN貿易額の推移



## 九州のASEAN域内における国別輸出入動向

（単位：億円、%）

国名	輸出					輸入				
	金額	構成比	伸び率	寄与度	全国比	金額	構成比	伸び率	寄与度	全国比
ベトナム	1,714	19.2%	36.7%	6.2%	10.2%	1,269	16.1%	15.3%	2.3%	6.1%
タイ	2,077	23.2%	26.8%	5.96%	6.3%	1,692	21.5%	11.2%	2.3%	6.6%
シンガポール	2,123	23.7%	17.9%	4.4%	8.4%	179	2.3%	-6.5%	-0.2%	1.9%
マレーシア	1,338	15.0%	15.8%	2.48%	9.4%	929	11.8%	18.7%	2.0%	4.3%
ブルネイ	8	0.1%	-14.3%	-0.02%	8.8%	25.3	0.321%	18078.0%	0.3%	1.31%
フィリピン	741	8.3%	9.3%	0.85%	5.9%	1,175	14.9%	-3.5%	-0.6%	10.7%
インドネシア	867	9.7%	16.3%	1.6%	5.8%	2,543	32.3%	-1.7%	-0.6%	11.4%
カンボジア	27	0.3%	3.3%	0.01%	6.8%	34	0.4%	19.2%	0.07%	2.4%
ラオス	2	0.02%	1.8%	0.00%	1.6%	5	0.06%	42.5%	0.020%	2.9%
ミャンマー	49	0.6%	-28.1%	-0.26%	5.0%	33	0.4%	23.4%	0.08%	2.8%
ASEAN 計	8,947	100.0%	21.3%	21.3%	7.5%	7,883	100.0%	5.7%	5.7%	6.8%

出所：財務省「貿易統計」より九州経済産業局作成

# 九州とASEANの貿易動向②

- 輸出品目は、輸出額が大きい順に、半導体等電子部品、鉄鋼のフラットロール製品、船舶類であった。
- 輸入品目は、輸入額が大きい順に、石油ガス類、絶縁電線及び絶縁ケーブル、天然ゴムであった。

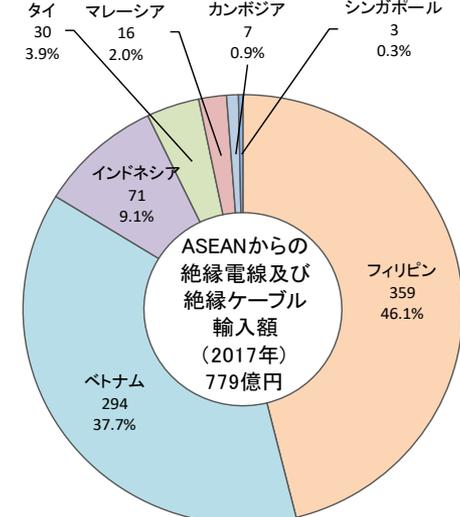
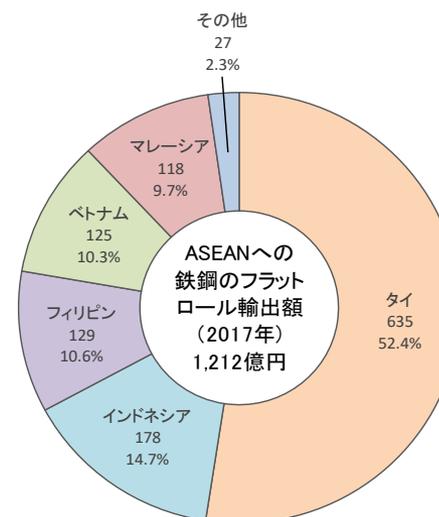
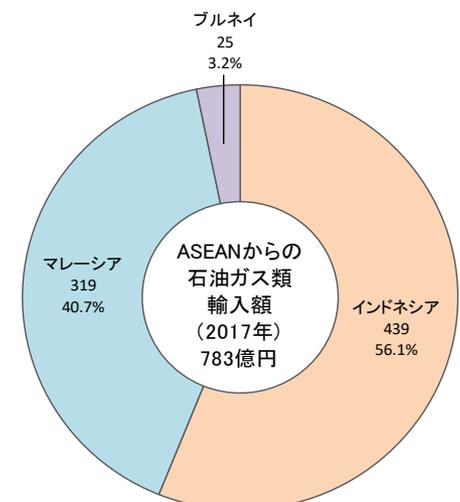
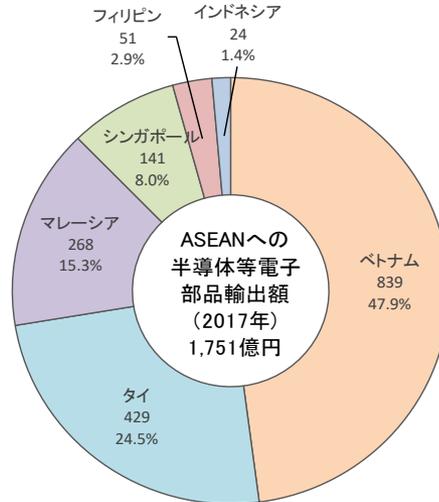
九州のASEANへの主要輸出品目別相手国

九州のASEANからの主要輸入品目別相手国

## 九州の主な対ASEAN輸出入品目

主な輸出品目	輸出額(億円)	構成比(%)
半導体等電子部品	1,751	19.6%
鉄鋼のフラットロール製品	1,212	13.5%
船舶類	687	7.7%
金(マネタリーゴールドを除く)	684	7.6%
自動車	466	5.2%
有機化合物	356	4.0%
事務用機器	268	3.0%
鉄鋼の棒・形鋼及び線	254	2.8%
ゴムタイヤ及びチューブ	189	2.1%
映像機器	175	2.0%
その他	2,903	32.4%
総 額	8,947	100.0%

主な輸入品目	輸入額(億円)	構成比(%)
石油ガス類	783	9.9%
絶縁電線及び絶縁ケーブル	779	9.9%
天然ゴム	618	7.8%
石炭	491	6.2%
自動車の部分品	381	4.8%
非鉄金属鉱	370	4.7%
音響・映像機器(含部品)	210	2.7%
原油及び粗油	163	2.1%
魚介類	149	1.9%
半導体等電子部品	139	1.8%
その他	3,800	48.2%
総 額	7,883	100%

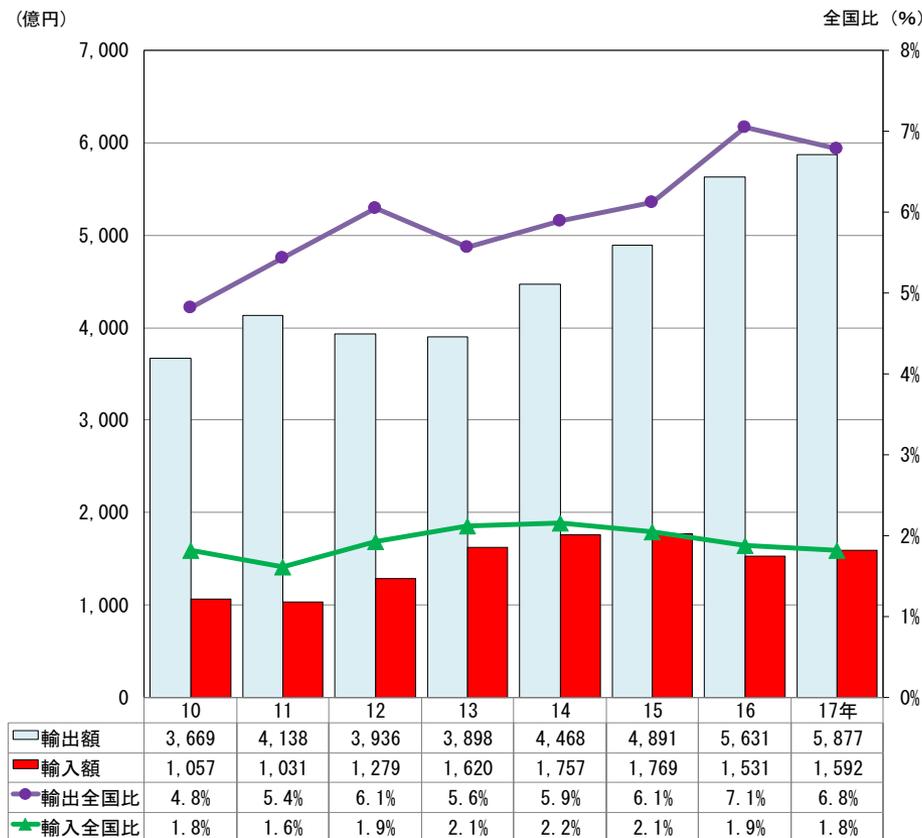


出所:財務省「貿易統計」より九州経済産業局作成

# 九州とEUの貿易動向①

- 2017年の九州の対EU貿易額は、輸出が5,877億円(前年比4.4%増)で前年より増加し、4年連続の増加となった。一方、輸入も1,592億円(前年比4.0%増)で前年より増加した。
- 九州からの輸出は、オランダ向けが1,359億円(前年比5.8%増)で最も多く、次がイタリア向けの903億円(前年比3.1%増)、ドイツ向けの902億円(前年比19.2%増)であった。
- 九州への輸入は、フランスからが395億円(前年比9.5%増)で最も多く、次がドイツからの355億円(前年比3.8%減)、スペインからの195億円(前年比23.3%増)であった。

### 九州の対EU貿易額の推移



出所:財務省「貿易統計」より九州経済産業局作成

### 九州のEU域内における国別輸出入動向(上位10ヶ国)

国名	輸出額(億円)	構成比
オランダ	1,359	23.1%
イタリア	903	15.4%
ドイツ	902	15.3%
英国	887	15.1%
スペイン	422	7.2%
ベルギー	415	7.1%
フランス	346	5.9%
マルタ	138	2.4%
スウェーデン	112	1.9%
ルクセンブルク	62	1.1%
その他	331	5.6%
EU計	5,877	100.0%

国名	輸入額(億円)	構成比
フランス	395	24.8%
ドイツ	355	22.3%
スペイン	198	12.4%
英国	137	8.6%
イタリア	93	5.9%
オランダ	70	4.4%
デンマーク	56	3.5%
フィンランド	55	3.5%
スウェーデン	49	3.1%
ベルギー	42	2.6%
その他	142	8.9%
EU計	1,592	100.0%

# 九州とEUの貿易動向②

○輸出品目は、輸出額が多い順に、自動車、船舶類、事務用機器であった。輸出額の増加に大きく寄与したものは、二輪自動車(寄与度: +1.7%)、自動車(同+1.1%)等であった。一方、減少では、船舶類(同▲2.0%)、鉄鋼のフラットロール製品(同▲0.9%)等であった。

○輸入品目は、輸入額が多い順に、原動機、電気計測機器、自動車の部分品であった。輸入額の増加に大きく寄与したものは、原動機(寄与度: +3.4%)、電気計測機器(同+2.3%)等であった。一方、減少では、音響・映像機器(含部品)(同▲1.3%)、小麦及びメスリン(同▲0.8%)等であった。

## 九州の主な対EU輸出入品目

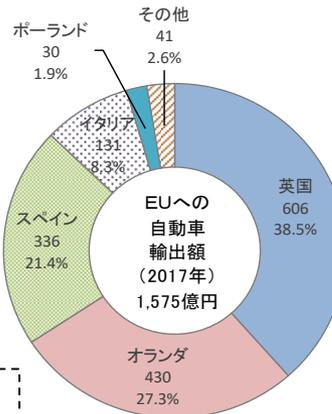
主な輸出品目	輸出額(億円)	構成比(%)
自動車	1,575	26.8%
船舶類	849	14.4%
事務用機器	499	8.5%
半導体等電子部品	429	7.3%
二輪自動車類	375	6.4%
ゴムタイヤ及びチューブ	306	5.2%
映像機器	190	3.2%
ポンプ及び遠心分離機	145	2.5%
自動車用等の電気機器	138	2.3%
有機化合物	120	2.1%
その他	1,252	21.3%
総計	5,877	100.0%

寄与度(増加分): 二輪自動車類(+1.7%)、自動車(+1.1%)等  
 寄与度(減少分): 船舶類(▲2.0%)、鉄鋼のフラットロール製品(▲0.9%)等

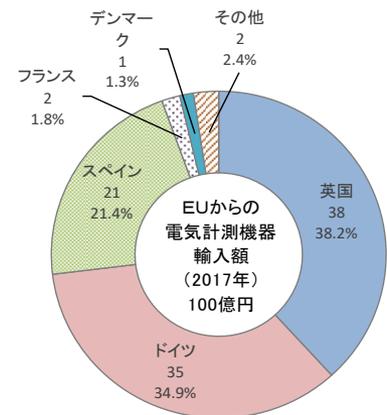
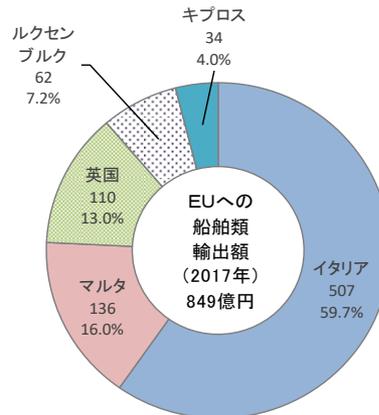
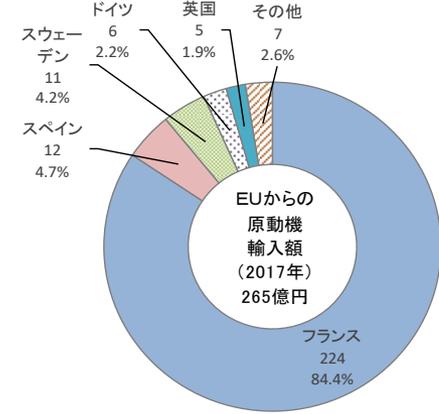
主な輸入品目	輸入額(億円)	構成比(%)
原動機	265	16.6%
電気計測機器	100	6.3%
自動車の部分品	82	5.1%
有機化合物	58	3.6%
航空機類	54	3.4%
豚・いのししの肉	53	3.3%
無機化合物	45	2.8%
ポンプ及び遠心分離機	43	2.7%
重電機器	36	2.3%
木材	30	1.9%
その他	826	51.9%
総額	1,592	100%

寄与度(増加分): 原動機(+3.4%)、電気計測機器(+2.3%)等  
 寄与度(減少分): 音響・映像機器(含部品)(▲1.3%)、小麦及びメスリン(▲0.8%)等

## 九州のEUへの主要輸出品目別相手国



## 九州のEUからの主要輸入品目別相手国



# 九州と米国の貿易動向

○2017年の九州の対米貿易額は、輸出が1兆1,157億円(前年比45.4%増)で前年より増加し、3年連続の増加となった。一方、輸入も3,327億円(前年比35.6%増)で前年より増加した。

○輸出品目は、輸出額が多い順に、自動車、事務用機器、ゴムタイヤ及びチューブであった。輸出額の増加に大きく寄与したものは、自動車(寄与度: +36.7%)、二輪自動車類(同+1.2%)等であった。一方、減少では、半導体等電子部品(同▲0.7%)、ゴムタイヤ及びチューブ(同▲0.5%)等であった。

○輸入品目は、輸入額が多い順に、とうもろこし、石油ガス類、石炭であった。輸入額の増加に大きく寄与したものは、石油ガス類(寄与度: +9.1%)、石油製品(同+3.7%)等であった。一方、減少では、音響・映像機器(含部品)(同▲1.3%)、米(同▲0.2%)等であった。

## 九州の主な対米国輸出入品目

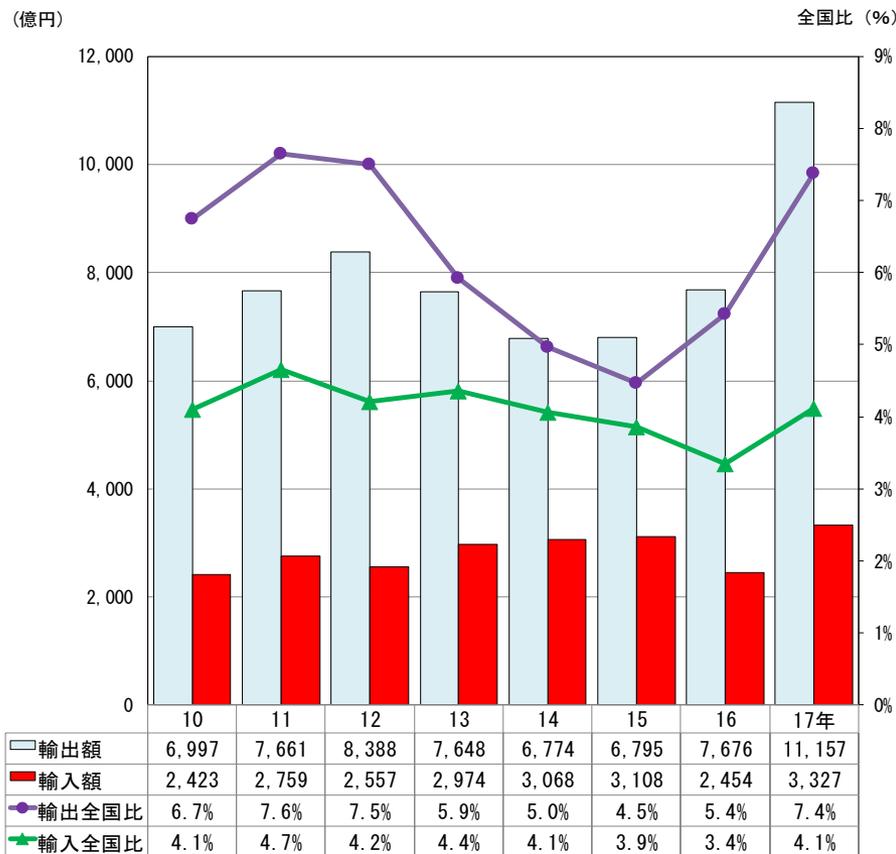
主な輸出品目	輸出額(億円)	構成比(%)
自動車	6,369	57.1%
事務用機器	530	4.7%
ゴムタイヤ及びチューブ	369	3.3%
原動機	356	3.2%
半導体等電子部品	291	2.6%
二輪自動車類	265	2.4%
自動車の部分品	265	2.4%
映像機器	240	2.1%
鉄鋼のフラットロール製品	212	1.9%
自動車用等の電気機器	178	1.6%
その他	2,081	18.7%
総 額	11,157	100%

寄与度(増加分): 自動車(+36.7%)、二輪自動車類(+1.2%)等  
寄与度(減少分): 半導体等電子部品(▲0.7%)、ゴムタイヤ及びチューブ(▲0.5%)等

主な輸入品目	輸入額(億円)	構成比(%)
とうもろこし	578	17.4%
石油ガス類	412	12.4%
石炭	215	6.4%
石油製品	166	5.0%
原油及び粗油	129	3.9%
魚介類	125	3.8%
有機化合物	120	3.6%
小麦及びメスリン	97	2.9%
原動機	95	2.9%
無機化合物	90	2.7%
その他	1,299	39.1%
総 額	3,327	100%

寄与度(増加分): 石油ガス類(+9.1%)、石油製品(+3.7%)等  
寄与度(減少分): 音響・映像機器(含部品)(▲1.3%)、米(▲0.2%)等

## 九州の対米国貿易額の推移



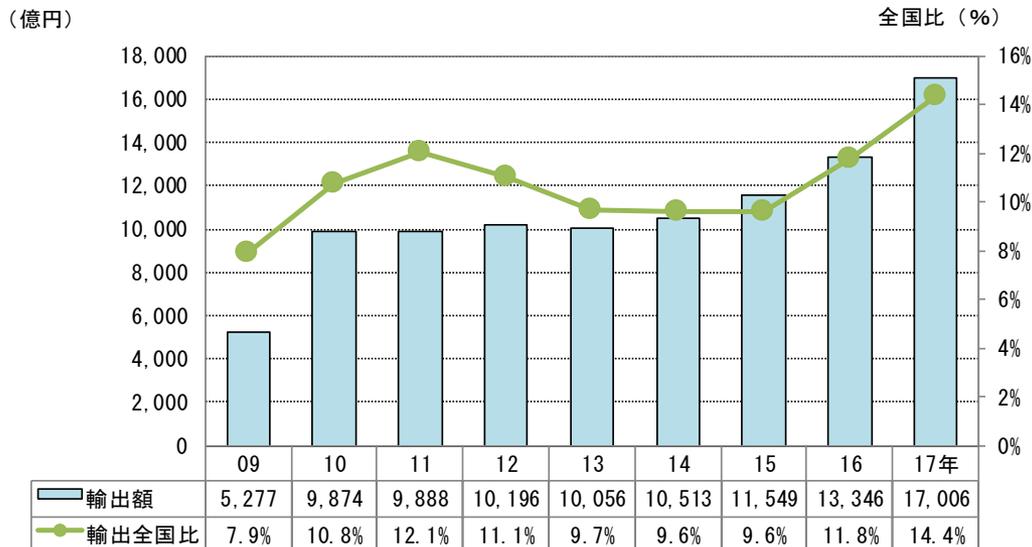
出所: 財務省「貿易統計」より九州経済産業局作成

# 九州の産業別貿易動向①(自動車)

○2017年の九州の自動車輸出額は1兆7,006億円(前年比27.4%増)で前年より増加し、4年連続の増加となった。輸出先は、米国が最も多く、次いで中国、アラブ首長国連邦であった。

○2017年の九州の自動車生産台数は、139万台(前年比3.1%増)で、日本全体の生産台数(969万台)の約14%を占めた。

### 九州の自動車輸出額の推移



### 九州の自動車の主な輸出相手国・地域

2017年	2017年	
	金額(億円)	構成比(%)
米国	6,369	37.5%
中国	4,009	23.6%
アラブ首長国連邦	1,243	7.3%
メキシコ	640	3.8%
英国	606	3.6%
その他	4,139	24.3%
計	17,006	100.0%

(単位:万台、%)

### 世界の自動車生産台数(右図)

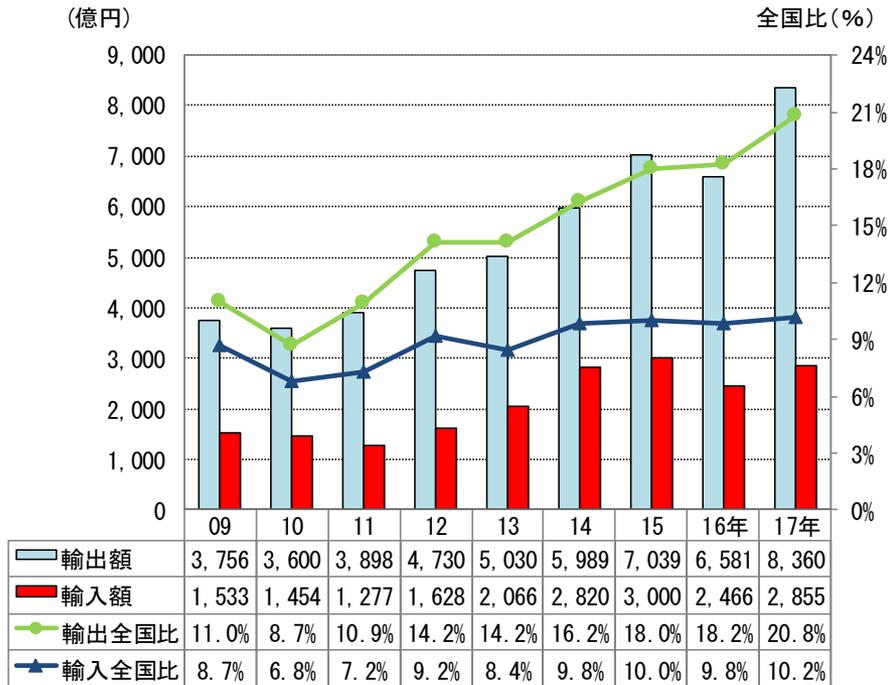
	2012年	2013年	2014年	2015年	2016年	2017年	2017年		
							構成比	伸び率	11年比
ヨーロッパ	1,986	1,992	2,043	2,117	2,149	2,216	22.8%	3.1%	11.6%
米州	2,009	2,113	2,122	2,096	2,082	2,067	21.2%	-0.7%	2.9%
アジア大洋州	4,370	4,582	4,740	4,788	5,185	5,354	55.0%	3.3%	22.5%
日本	994	963	977	928	920	969	10.0%	5.3%	-2.5%
九州	146	134	130	135	135	139	1.4%	3.1%	-4.8%
中国	1,927	2,212	2,373	2,457	2,812	2,902	29.8%	3.2%	50.6%
韓国	456	452	452	456	423	411	4.2%	-2.7%	-9.8%
インド	417	390	384	416	452	478	4.9%	5.8%	14.6%
タイ	243	246	188	191	194	199	2.0%	2.3%	-18.1%
その他	332	319	365	341	383	394	4.1%	3.0%	19.0%
アフリカ	59	64	72	84	90	93	1.0%	3.1%	58.8%
世界計	8,424	8,751	8,978	9,084	9,506	9,730	100.0%	2.4%	15.5%

出所:財務省「貿易統計」、国際自動車工業会連合会HPより  
九州経済産業局作成

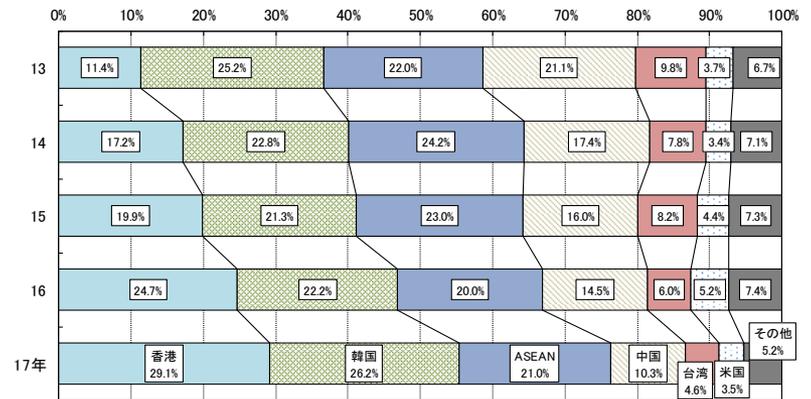
# 九州の産業別貿易動向②(半導体等電子部品)

- 2017年の九州の半導体等電子部品貿易額は、輸出が8,360億円(前年比27.0%増)で前年より増加した。一方、輸入も2,855億円(前年比15.8%増)で前年より増加した。
- 九州の輸出相手国・地域では、香港向けが最も多く、次いで韓国、中国であった。直近の5年間で、香港向けの割合が2倍以上増加し、中国向けの割合は半分以下と大きく減少した。
- 九州の輸入相手国・地域では、台湾からが最も多く、次いで中国、韓国であった。直近の5年間で、台湾からの割合が2割から7割へと大きく増加し、中国、韓国、ASEANからの割合が大きく減少した。

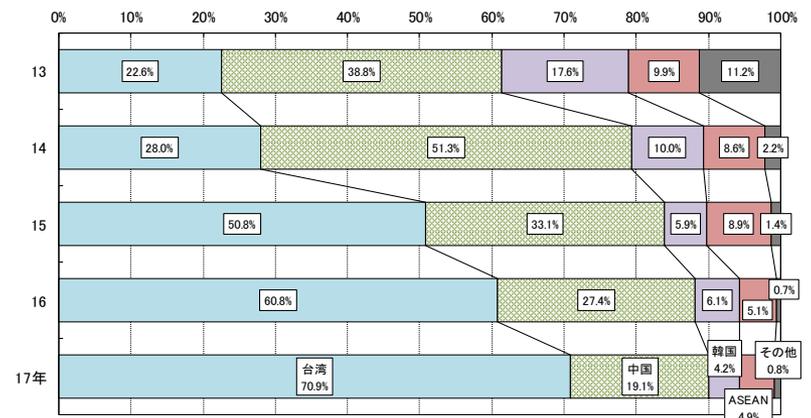
### 九州の半導体等電子部品の貿易額推移



### 九州の半導体等電子部品の主な輸出相手国・地域



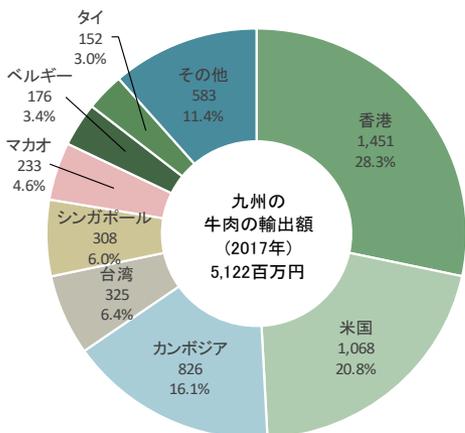
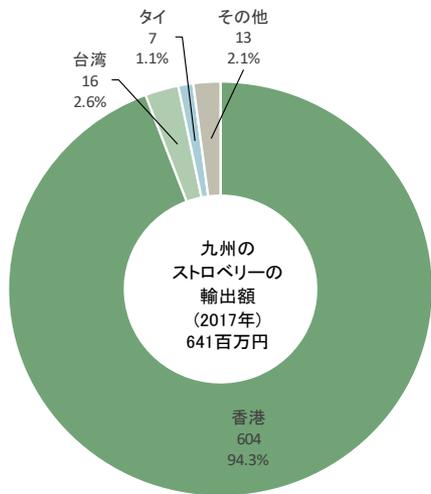
### 九州の半導体等電子部品の主な輸入相手国・地域



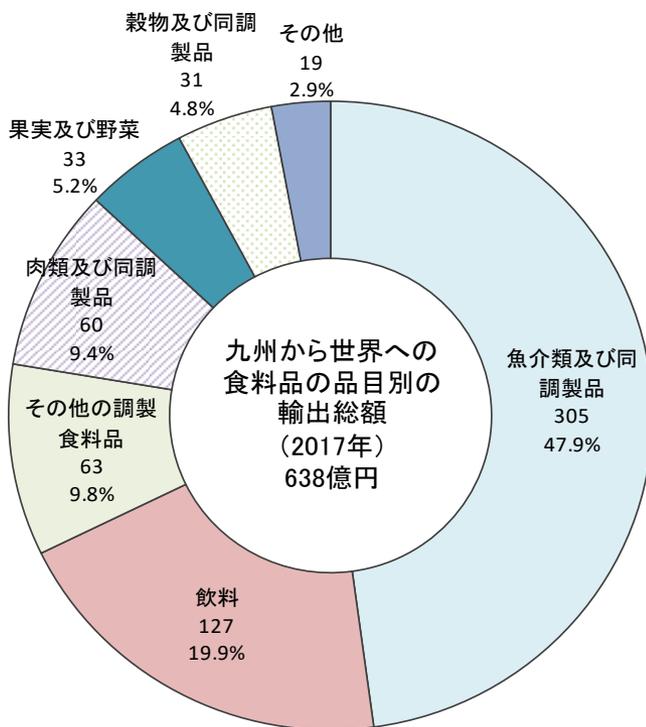
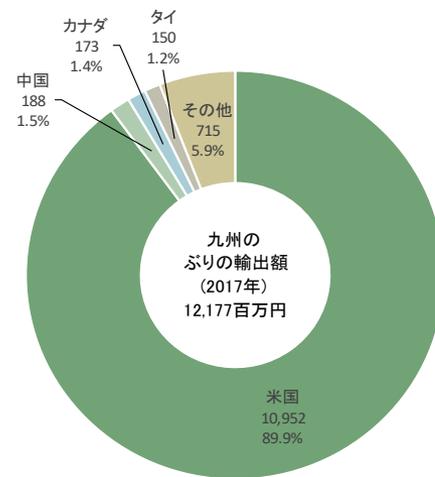
# 九州の産業別貿易動向③(食料品)

○九州の食料品について品目別に見ると、魚介類及び同調製品の輸出額が最も多く、次いで飲料、その他の調整食料品、肉類及び同調製品であった。ぶりは米国、ビールは韓国、牛肉とストロベリーは香港向けが最も多い。

野菜及び果実

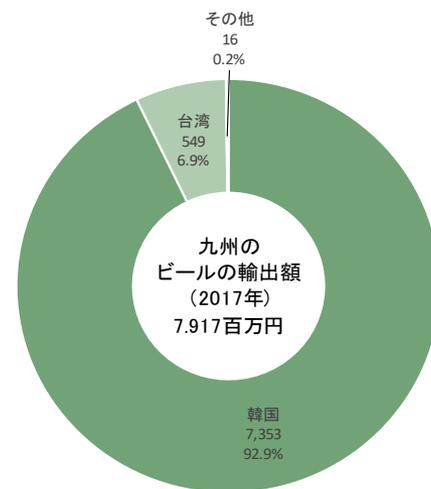


魚介類及び同調製品



肉類及び同調製品

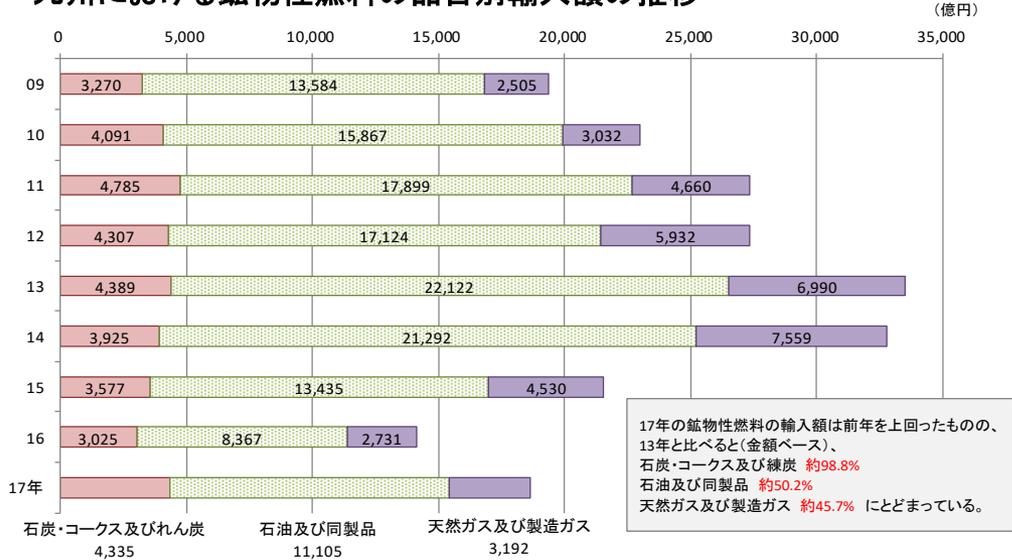
飲料



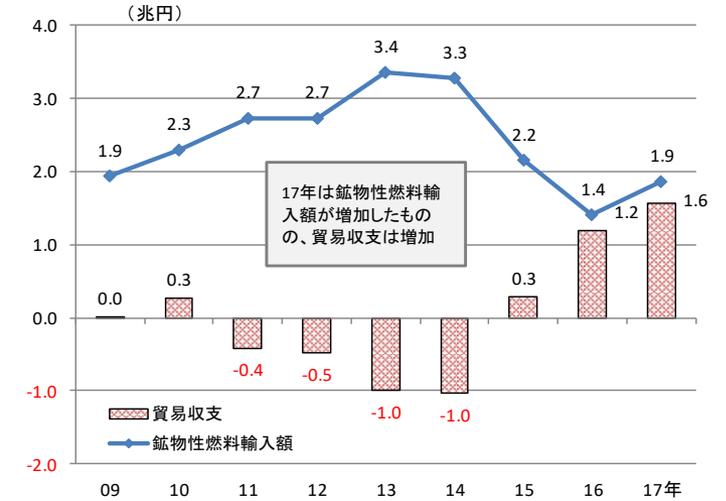
# 九州の産業別貿易動向④(鉱物性燃料)

- 2017年の九州の鉱物性燃料の輸入額は1兆8,632億円(前年比31.9%増)で前年より増加し、4年ぶりに増加に転じた。
- 原油相場における原油価格をみると、2017年は前年を上回った。
- 九州の主な鉱物性燃料の石炭、原油及び粗油、LNGの輸入数量をみると、それぞれ前年を下回っている。

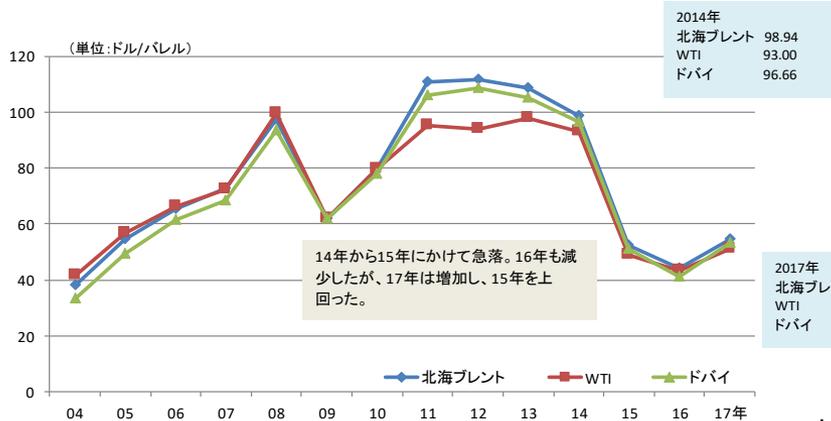
## 九州における鉱物性燃料の品目別輸入額の推移



## 九州における鉱物性燃料輸入額と貿易収支の推移



## 原油相場における原油価格の推移



## 九州の主な鉱物性燃料の輸入数量の推移

